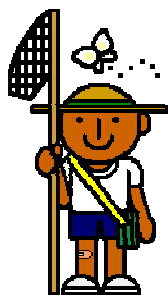


ユーアイやちよのあゆみ



47号

2007年7月21日 発行



ユーアイやちよ 満15年の節目に思うこと！

そしてこれから...



平成3年11月、実践と学習をモットーに有志で「在宅ケアを考える会」を立ち上げ、翌4年4月「ユーアイやちよ」として1時間650円(協力会員には600円)の低廉良質なホームヘルプサービスをスタート。学習会は会員だけでなく一般市民にも呼びかけて福祉に関するさまざまな勉強会を行ってきました。

7年7月～18年3月、ボランティアによる週1回の配食サービス実施

12年4月～介護保険事業(居宅介護支援、訪問介護)を開始(基準該当事業者)

13年2月 NPO法人となり、同年6月～指定事業者となりました。

現在、障害福祉サービス(ホームヘルプ、ガイド)有償福祉移送サービスの利用者も増え、14年11月～“ふれあいサロンやよい”を立ち上げ支援し、現在、地域の人たちで運営する「ユーアイやちよの輪」のサロンは市内7箇所になりました。

会を立ち上げて満15年、たくさんの方に支えられて、私たちは、“地域で支えあう活動”を続けることができました。今、地域の人たちと歩んでいるという確かな想いと、これからの責任をひしひしと感ずるところです。

現在は制度事業が大きな比率を占めているもののユーアイサービスもたくさんの人たちが利用され、元気の出るサロン(ミニデイ)には大勢の人が参加しています。制度外のサービスが、これからもっと大きな役割を担っていくような予感がします。

当会活動方針の5「ユーアイやちよの会員として、助けあいの心を忘れない」を会員一人ひとりが、生き方の中で、また、活動のどんな場面でいかせるか、これからの課題がもしれません。

M . S

「介護サービスの質を高める・自らの質を向上させる」講演を聴いて

(5/19 講師 全国社会福祉協議会 Y.Y氏)

介護は看護と同じようにプロの仕事です。特に、介護保険、障害者福祉サービスは、法律にのっとって活動することが求められます。今回のYさんの講義は、プロとしての自覚を持つ必要を今一度みんなで考える機会であったと思います。

介護職員は、介護を受ける人の尊厳ある生き方を支えていかなければなりません。そのためには、その人の全人格を把握することが重要で、その人の人生を受け止め、共有していかなければなりません。

今、サービスを提供する側の姿勢が問われており、法令順守が厳しく言われています。訪問介護員は、職場内チームワークを心がけ、介護に当たっては、介護計画に沿って援助を行い、適切な介護技術を持ってサービス提供を行います。そして、いろいろな職種とネットワークを組みながら、介護のプロとして、役割を果たさなければなりません。事業者は、介護員の資質向上のために研修の機会を確保し、介護職員は、自ら、研修を受けなければならないことも、運営基準に書かれています。

事業者は介護サービスのプロとして、利用者が、来てほしい時間帯に出来るだけ対応できなければと思う時、“介護員の空き時間に提供”では、応じられないことも多く、提供責任者としては悩み多い日々の業務です。

M.T



心に残った研修 「私の体験した安全衛生管理について」

(H.13.12月 定例研修から) 講師 J.D氏

現役時代に日本の主だった橋梁の設計、そして架設現場の責任者の仕事に携わり、現場工事担当期間に遭遇した悲惨な事故を、生々しく話してくださいました。事故の実例では、ベテラン中のベテランの事故死に共通していたのが、自信と慣れだったようだとお話しし、安全に対する心構え、精神安全教育、危険予測など、その当時一番たいせつなものが曖昧だったと話されていました。

安全衛生確保の基本理念は何の業務でも同じであり、私たちもこれは事業所としてもヘルパーとしても常に念頭に置き、仕事にかかわらねばと思います。当時の私はヘルパーとして5年目に入り、少なからず惰性と慣れの日々でした。講演を聴き、目が覚めるようだったことを今でも思い出します。

ヘルパーは利用者さんに真心と誠意をもって接することが利用者の心の中に自然と自己管理の気持ちを芽生えさせることになるのではないかと。そして、明るい気持ちで出勤(ヘルパーの仕事)できるようにすることが、仕事に携わる者にとっての災害防止に効果があるのではと結ばれていました。

H.S

ユーアイやちよの“ 賛 ”

“ユーアイやちよ” がめでたく 15 周年を迎えられ、賛助会員の一人として、心からお喜びを申し上げます。

会長さんをはじめ、皆さんが初心を忘れることなく今日まで立派に築き上げられてきたご努力に敬意を表します。この成果の源はといえば、まず、その出発点における、「眼力」の確かさにあったと思います。加えて、年々増加の一途を辿る高齢者と共に変化する社会の動向を見据え、掴み、それに乗り遅れずに常に注意深く前進し続けたからでしょう。

介護を求める方々は、心細い思いのやり場にさぞや困っておられるでしょうが、ユーアイの皆さんの「支えあう」精神に、思わず笑顔がこぼれることも多いと思います。斯く申します私も既に年を重ねて、81 歳になりますが、精気あふれるユーアイやちよにエールを送りつつ、少しでも長く自立の日々を過ごしたいと願っております。

賛助会員 J . D



介護福祉士の資格取得の勉強をして

介護福祉士の資格取得を勧められ、簡単に返事をしてしまい後悔！

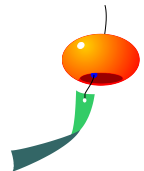
本を取り寄せ満足すること数ヶ月経ってから、いざ本を開いてビックリ！今まで勉強したこともない内容ばかり。家事を手早く済ませ、机に向かい本を読んでいるつもりが、深々と本に頭を下げています。「なにやってるの」と娘の一声。ハッと我に返る。こんな私が重い腰を上げたのは、講習会で熱心に取り組まれている同世代の方、あるいはもう少し上の年齢の方たちを見たことがきっかけだった。問題集を買いあさり、模擬テストを受け、今考えるととても充実した毎日で楽しかったように思う。よき友にも出会い、励ましあいながら、なんとか一次試験、二次試験にパスすることが出来た。

勉強して得た知識を知恵に替え、利用者さんにお返ししていきたい。

S . I

* K . N さん (97 歳)、 Y . I さん (70 歳) ご家族の様子が高齢者介護情報誌 “ BETTER CARE ” の「百人百色の介護」に掲載の取材を受けました (7 / 17)

* 19 年度賛助会員の皆様 (敬称、略)
ご支援を頂き、心よりお礼申し上げます。



S . I、 H . M、 I . H、 M . T、 T . S、 H . A、 T . I、
J . D、 T . S、 T . T、 K . O、 Y . A、 M . Y、
M . S、 T . E、 H . O、 Y . N、 K . O、 K . I、
T . T、 M . T、 T . O、 K . W、 S . W、 T . N、 H . A

行事報告（H19.4月～7月）

- 4/21 定例会 定例研修「チームケアについて」
4/26,27 居宅介護従事者(障害福祉サービス)研修 介護労働安定センター
5/19 19年度総会
5/19 研修「介護サービスの質を高める・自らの質を向上させる」
Y.Y氏
5/26,6/21,7/12 スーパービジョン研修3回各1名 千葉県研修センター
5/30 八千代市介護サービス協議会総会
6/2 千葉県助け合い協議会総会
6/17 福祉有償運送運転者代替講習 移動支援ネットワークちば
6/28 千葉県介護サービス事業者集団指導（訪問介護）
6/29 "（居宅介護支援）



今後の予定

- 7/21 定例会 実技研修 身体介護（DVD、実技）
8月 定例会はお休み
6/24.7/22.8/26 スキルアップ講座「中堅職員研修」
労働安定センター
9/13 「サービスの公表」調査
9/23 15周年のつどい 八千代文化センター
9/28.29.30 15周年記念講座「傾聴ボランティア講座」
生涯学習センター
10月以降 介護サービス事業者の指定更新申請手続き
10/20 定例会 研修「人との関わりから学ぶこと」講師 M.A氏



編集後記

いつも発行日間際になって、なにかない？そして、原稿を...のご無理なお願いばかり。網干さんにもすっかりご迷惑をおかけしています。

今回は満15年の節目、独断をお許しください。“記念のつどい”をみんなで楽しみましょう！

椎名

ユーアイやちよのあゆみ

〒276-0034 八千代市八千代台西8丁目16-1

TEL.047-482-4109 FAX.047-482-4179

編集人 網干 発行人 桃井 哲朗